

長源寺太師堂

ちょうげんじたいしどう

市指定

所在地：西浜谷



木造瓦葺、二間四方の建物で、身舎周囲に1.5m幅の縁を巡らせた護摩堂である。元篠山春日神社（黒岡）の神宮寺であった栄松寺の護摩堂を、嘉永3年（1850）に長源寺境内に移築したものである。

古記録から、松平（形原）氏が篠山藩主の時代の、慶安2年（1649）から寛延元年（1748）の間に、当時の藩主によって建立されたものと考えられている。総ケヤキ造で、扉をはじめ建物内部の各所に「三葉葵^{みつばあおい}」の紋が配されるのを特徴とする。江戸時代中期の建物として貴重である。